

第19回『女性起業家大賞』受賞者決定

～「感動・変革への挑戦」をキーワードに女性起業家を表彰～

全国商工会議所女性会連合会

地域を活性化させ、わが国経済社会の活力強化を図るため、柔軟性を持つ女性の社会への積極的な参画が期待されており、創業という観点からも女性企業家が担う社会的役割は非常に大きいものです。


こうした状況に鑑み、全国2万2千人を超える女性経営者のネットワークを持つ全国商工会議所女性会連合会では、女性の視点で、革新的・創造的な企業の創業や経営を行い、事業を成功させている女性起業家を顕彰し、督励・支援するため『女性起業家大賞』を2002年に創設しました。

対象は、創業10年未満の女性経営者で、スタートアップ部門（創業5年未満）、グロース部門（創業5年以上10年未満）の2部門にて募集。このたび、第19回「女性起業家大賞」受賞者が決定しましたのでお知らせいたします。

「第19回女性起業家大賞」受賞者一覧

最優秀賞

加藤 雅世子（かとう かよこ）様

 [インタビュー記事はこちら](#)

学校法人星生学園 理事長（佐賀県佐賀市）

【創業年：2011年】（グロース部門）

事業概要	教育業（中学校卒業以降の不登校・発達障がい者を入学対象とする高等専修学校）
主な受賞理由	<ul style="list-style-type: none">佐賀県のスクールカウンセラーとして小・中学校に勤務していた際、不登校や発達障がいなど修学に困難を抱えた生徒の中学校卒業後の進路選択の中で、専門性を持った支援が可能な進学先が存在しない現実を目の当たりにし、義務教育以降の支援が喫緊の課題と切に思い、その解決のために「学びのセーフティネット」として高等専修学校を設立。「垣根のない教育がユニバーサルな精神を育む」という教育理念を掲げ、特に、対人関係を学ぶソーシャルスキルトレーニングや、生活設計力の向上を目標としたカリキュラムに注力する。その一環として、高齢者福祉施設慰問や幼稚園ボランティア、企業へのインターンシップなど地域と関わる活動や、11種の検定試験への取り組みを通じ、社会で必要な生活スキルの習得を目指している。総修得単位数75単位と、高等学校卒業者と同等以上の学力があるとして、文部科学省から「大学入学資格付与指定校」として認可を受けている。さらに、学費を年間50万円に設定しどの家庭でも手の届く平等な教育機会を保ち、教育の質を維持し続けたことで、「SDGs佐賀県版冊子」のモデル校として紹介されたほか、2019年からは生徒一人当たりの運営費補助金が増額されるなど、行政にも着実に実績が認められてきている。また、サポートする立場である職員間の協力体制、職場の雰囲気の良い循環をもたらすために、相互に前向きな行動や発言を認め褒めるという「コンプル」を毎月行っており、失敗しても次につなげるコミュニケーションを第一に考えて職員の持ち味を活かす環境づくりを心掛けている。子ども達が尊重し協働し合う人間性教育を軸にした成長モデルであり、事務業務を徹底効率化し、子ども達や保護者との時間を多く設ける工夫を凝らしていること、フリースクール開設や保護者側支援など今後の展望も期待できることを高く評価。
受付女性会	佐賀